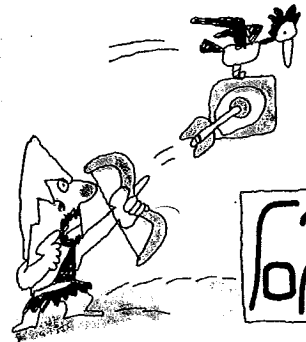


確

カク
たしか・たし
かめる

15画
石 礫 砂 礫 礫 礫 礫

なりたち 鳥が空高く飛ぶ意味から、人の志の高く堅いことを表す(礫)と、石との会意形声字。堅い石の「しつかり」として「たしか」なようす。意味を表した字。また、「たしかめる」こと。



いみじゆくこ
しつかりしている。堅い。確信：堅く信じていること。用例彼の成功を確信する。確定：はっきりと決まること。決めること。

確固：しつかりして動かない様子。用例確固たる信念。確保：しつかりと保持すること。用例座席を確保する。確立：しつかりと立つこと。用例友好関係を確立する。

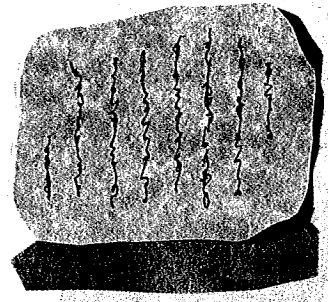
たしか。間違いない。確実：確かで間違いがないこと。用例確実な方法。正確：正しくて間違いがないこと。用例正確な答え。確証：確かな証拠。たしかめる。確認：確かめて間違いがないと認めること。よみかた 確言・確答・確率

碑

おん
ヒ

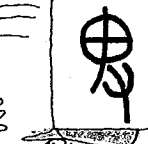
14画
石 礫 礫 礫 礫 礫 礫

なりたち 旧字体は碑。丈の低い意味の卑と、石との会意形声字。丈の低い石という意味の字。丈の高い石ぶみを碣(か)といったのに対し、丈の低い石ぶみを「碑」といった。今は碣が用いられず、高いのも碑と呼ばれる。



いみじゆくこ
石ぶみ。文章を彫りつけた石。碑文：石ぶみに彫りつけた文章。石碑：①石ぶみ。何かを記念するために文章を彫りつけて建てた石。②墓石。墓碑：墓石。例墓碑銘(墓石に刻まれた短い文章)。記念碑：記念のために建てられた石碑。歌碑：和歌を刻みつけた石碑。口碑：口伝えに伝えられてきた話。昔話や伝説など。

碑卑



なりたち 旧字体は卑。しゃもじ(匕)の形を表した卑と手の形を表した十の会意形声字。しゃもじを持つて働く「はした女(婢)」を表した字。婢(ひ)の本字。転じて、身分の低いこと。意味。「いやしい」こと。

いみじゆくこ
身分が低い。卑卑：身分の高いものと低いもの。例賤賤(せんとん)尊卑もの。例貴賤(きせん)尊卑。いやしい。品が悪い。卑劣：行為が正々堂々としていなく、品性が下劣なこと。卑屈：心がいじけていて、必要以上にへりくだること。野卑：教養がなく下品なこと。用例野卑な態度。へりくだる。卑下：自分を卑しめてへりくだること。卑見：自分の意見のことをへりくだっている言葉。いやしめる。▼いやしめる。男尊女卑：男を尊び女を卑しめる考え方。よみかた 卑近・卑俗

確硫

硫

リュウ

12画
石 礫 礫 礫 礫 礫

なりたち 流れる意味の流(リウ)と石との会意形声字。火山から流れ出て固まった鉱石という意味の字。黄色い色をしてるので「硫黄」といわれ、今「硫黄」と読まれる。



いみじゆくこ
硫黄。硫黄：硫黄が酸素や水素と化合してできる、無色・無臭の油状の液体。強い酸性で腐蝕性がある。硫酸：硫酸アンモニウムの略称。アンモニアを含んだ硫酸の結晶。化学肥料の一つ。硫黄：火山から流れ出て固まった黄色い鉱石で、非金属材料の一つ。無臭だが、火をつけて燃やすと青い炎を出して燃え、鼻を突く悪臭を発生する。火薬・マッチ・医薬の原料となる。硫黄泉：硫黄を成分とする温泉。よみかた 特別なよみかた↓ 硫黄